

アルファ・ウイン 企業調査レポート

デジタルメディアプロフェッショナル (3652 東証マザーズ) 発行日：2019/5/23

アルファ・ウイン 調査部
<http://www.awincap.com/>

● 決算速報

◆ グラフィックス技術に特化した研究開発型ファブレス半導体ベンダー

・デジタルメディアプロフェッショナル（以下、同社）は、同社が独自に開発したグラフィックス技術をライセンス供与、またはこれを組み込んだ LSI 製品の生産を外部委託し販売する研究開発型ファブレス半導体ベンダーである。

◆ 2019 年 3 月期決算

- ・同社の 2019/3 期業績は、売上高 1,086 百万円（前期比 11.6%増）、営業利益 28 百万円（同 58.5%減）、経常利益 33 百万円（同 49.9%減）、当期純利益 35 百万円（同 67.8%減）であった。
- ・事業別売上高では、IP コアライセンス事業は 230 百万円（前期比 29.4%減）。人工知能(AI) 技術を活用した動画画像認識を行う「ZIA Classifier」の新規ライセンス契約による売上計上があったものの、特にゲーム機の既存顧客向けランニングロイヤリティ収入の落ち込みが影響した。
- ・LSI 製品事業は 364 百万円(前期比 142.7%増)。2019 年 3 月期から販売を開始した組込み機器向け AI FPGA（書換え可能な論理回路 LSI）モジュール「ZIA C3」や、アミューズメント業界向け、主にパチンコ・パチスロ向けの画像処理プロセッサ「RS1」が貢献した。
- ・プロフェッショナルサービス事業は 491 百万円（前期比 1.2%減）。新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）向けスポット案件の剥落で微減収となったが、その他の既存顧客向けは好調、2019 年 5 月 10 日に資本業務提携契約を締結したヤマハ発動機向けの AI 関連の受託開発も貢献した。
- ・採算性の高い IP コアライセンス事業の減収が大きく影響し、売上総利益率は前期比 12.8%ポイント低い 41.4%であった。「RS1」の研究開発終了により研究開発費が前期の 164 百万円から 77 百万円へと縮小したため、販売費及び一般管理費（以下、販管費）は 421 百万円（前期比 8.0%減）であった。販管費減となったものの売上総利益率の低下から、営業利益は前期比 58.5%減であった。
- ・同社の期初計画における営業利益予想は 100 百万円、アルファ・ウイン調査部（以下、当調査部）の予想は 200 百万円であった。当調査部予想に対する未達は、主に IP コアライセンス事業売上高実績が 230 百万円と当調査部予想の 460 百万円を大きく下回ったためである。

◆ ヤマハ発動機が筆頭株主へ

- ・同社は 2020/3 期業績について、売上高 1,300 百万円（前期比 19.6%増）、営業利益 30 百万円（同 3.6%増）、経常利益 30 百万円（同 9.9%減）、当期純利益 20 百万円（同 43.1%減）としている。
- ・同社が増収を見込むのは、主に LSI 製品事業における「RS1」の前期比出荷増を想定しているためである。パチンコ・パチスロ機は、現下新適合機（6 号機）への移行端境期である。なかでもパチスロ機は旧適合機(5 号機)が 2019 年 10 月~12 月に約 182 千台、2020 年 1~3 月期に約 9 千台の撤去が想定されていることから、新適合機への入れ替えは「RS1」にとってビジネスチャンスと思われる。
- ・当調査部の 2020/3 期予想は従来予想を減額し、売上高 1,300 百万円（前期比 19.6%増、従来予想 1,400 百万円）、営業利益 30 百万円（同 3.6%増、同 260 百万円）を予想する。従来予想との相違は、特に IP コアライセンス事業の売上高予想を 500 百万円から 290 百万円に減額したことによる。

・前述の通り、同社はヤマハ発動機と資本業務提携契約を締結した。第三者割当による新株式 320 千株全てをヤマハ発動機に割当（払込期日 5 月 27 日）、割当後はヤマハ発動機が持株比率 10.22%の筆頭株主となる予定である。同社は、モビリティ製品、マリン製品、産業用装置、産業用ロボット、無人航空機および無人地上車両等の多様な製品群を持つヤマハ発動機と資本業務提携することが、同社の事業の拡大と高付加価値化に資すると判断した。

【 3652 デジタルメディアプロフェッショナル 業種：情報・通信業 】 図表 A

決算期	売上高 (百万円)	前期比 (%)	営業利益 (百万円)	前期比 (%)	経常利益 (百万円)	前期比 (%)	純利益 (百万円)	前期比 (%)	EPS (円)	BPS (円)	配当金 (円)
2017/3	694	-5.4	-263	-	-262	-	-365	-	-134.37	609.89	0.0
2018/3	973	40.3	69	-	66	-	109	-	39.64	671.93	0.0
2019/3	1,086	11.6	28	-58.5	33	-49.9	35	-67.8	12.54	710.70	0.0
2020/3 CE	1,300	19.6	30	3.6	30	-9.9	20	-43.1	7.11	-	0.0
2020/3 E	1,300	19.6	30	3.6	30	-9.9	20	-43.1	7.11	1,118.73	0.0
2021/3 E	1,900	46.2	130	333.3	180	500.0	120	500.0	38.32	1,157.06	0.0

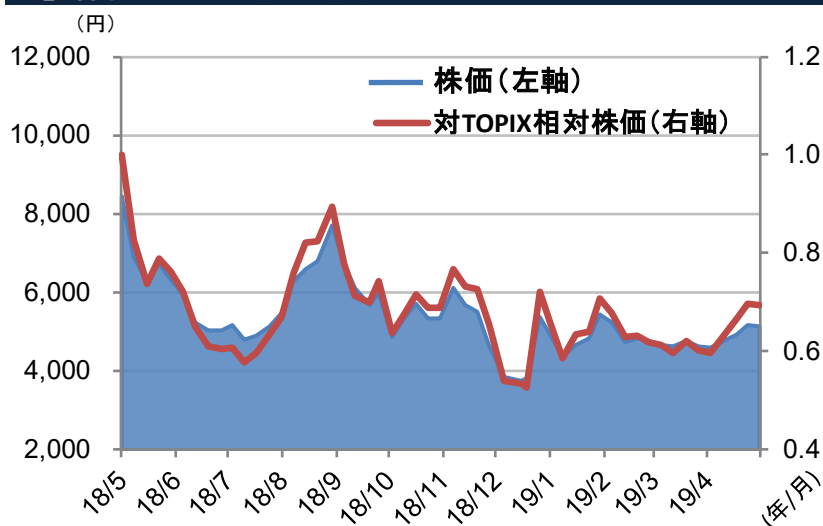
(注) CE：会社予想、E：アルファ・ウイン調査部予想

【 株価・バリュエーション指標：3652 デジタルメディアプロフェッショナル 】 図表 B

項目	2019/5/21	項目	PER (倍)	PBR (倍)	配当利回り	配当性向
株価 (円)	5,140	前期実績	409.9	7.2	-	-
発行済株式数 (千株)	2,801	今期予想	722.9	4.6	-	-
時価総額 (百万円)	14,452	来期予想	134.1	4.4	-	-
潜在株式数 (千株)	155	前期末自己資本比率		83.8%	前期ROE	1.8%

(注) 予想はアルファ・ウイン調査部予想

【 株価チャート(週末値)3652 デジタルメディアプロフェッショナル 】 図表 C



【パフォーマンス】		
期間	リターン	対TOPIX
1 カ月	11.7%	16.6%
3 カ月	1.4%	5.1%
6 カ月	-15.7%	-9.4%
12 カ月	-31.0%	-22.2%

(注) 月末値が基本、1カ月は 5/21と4/26との比較

(注) 2018年5月第4週～2019年5月第4週

ディスクレーマー

アルファ・ウイン企業調査レポート（以下、本レポート）は、掲載企業のご依頼によりアルファ・ウイン・キャピタル株式会社（以下、弊社）が作成したものです。

本レポートは、投資の勧誘や推奨を意図したものではありません。弊社は投資家の皆様が本レポートを利用したこと、又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失利益及び損害を含むいかなる結果についても一切責任を負いません。最終投資判断は投資家ご自身においてなされなければならず、投資に対する一切の責任は閲覧した投資家の皆様にあります。

本レポートの内容は、一般に入手可能な公開情報や事実に基づき、アナリストの取材等を経て分析し、客観性・中立性を重視した上で作成されたものです。また、会社による予想及び判断と、弊社による予想及び判断を区分し、記載するように努めております。

本レポートに掲載された内容は、作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を弊社は負わないものとします。

本レポートの著作権は、弊社に帰属し許可なく、複製、転写、引用、翻訳等を行うことを禁じます。弊社、及び本レポートの作成者等の従事者が、掲載企業の有価証券を既に保有していること、あるいは今後において当該有価証券の売買を行う可能性があります。

本レポートについてのお問い合わせは、電子メール【info@awincap.com】にてお願いいたします。但し、お問い合わせに対し、弊社、及び本レポート作成者は、返信等の連絡をする義務は負いません。